

プラズマ×遺伝学で切り拓く食料安全保障と地球レジリエンス



地球レジリエンス強化に向けた 低温プラズマ学と遺伝学の フロンティア学際ハブ

参加費無料
申し込み👉



2026年3月23日(月)
13:30~16:30

ステーションコンファレンス東京
4階402

JR東京駅日本橋口直結、
新幹線日本橋口改札徒歩1分、
八重洲北口改札徒歩2分

本シンポジウムは、**低温プラズマ学と遺伝学の異分野融合**を推進する学際ハブの設立を広く紹介し、その意義と今後の展望を共有する場として開催します。

近年、プラネタリーバウンダリーの概念が示すように、人類の生存には厳しい環境条件が不可欠であり、**気候変動や環境変化は農作物の収穫に甚大な影響**を及ぼしています。日本の農林水産業の持続可能性を高めるためには、再生可能エネルギー源を活用した電力供給を元に大気・水から生成するプラズマによる**プラズマ駆動型食料増産システム**の技術基盤を構築することが重要です。

本学際ハブでは、環境ストレス応答のエピジェネティクス理解を深め、プラズマ学と遺伝学の研究ネットワークを融合し、双方向の研究交流体制を構築、博士人材育成などを通じて、低温プラズマと遺伝学の融合による新領域を創出し、食料安全保障と地球レジリエンスの強化を目指します。

🌸🌸🌸🌸 プログラム 🌸🌸🌸🌸 司会：石川健治（名古屋大学）

来賓挨拶： 俵 幸嗣（文部科学省）

ご挨拶： 大野 哲靖（名古屋大学），福田 直也，坂本 瑞樹（筑波大学）

- ・ 柴 博史（筑波大学）
- ・ 大谷 美沙都（東京大学）
- ・ 江原 宏（名古屋大学）
- ・ 古閑 一憲（九州大学）
- ・ 木下 哲（横浜市立大学）
- ・ 壽崎 拓哉（筑波大学）
- ・ 石橋 勇志（九州大学）